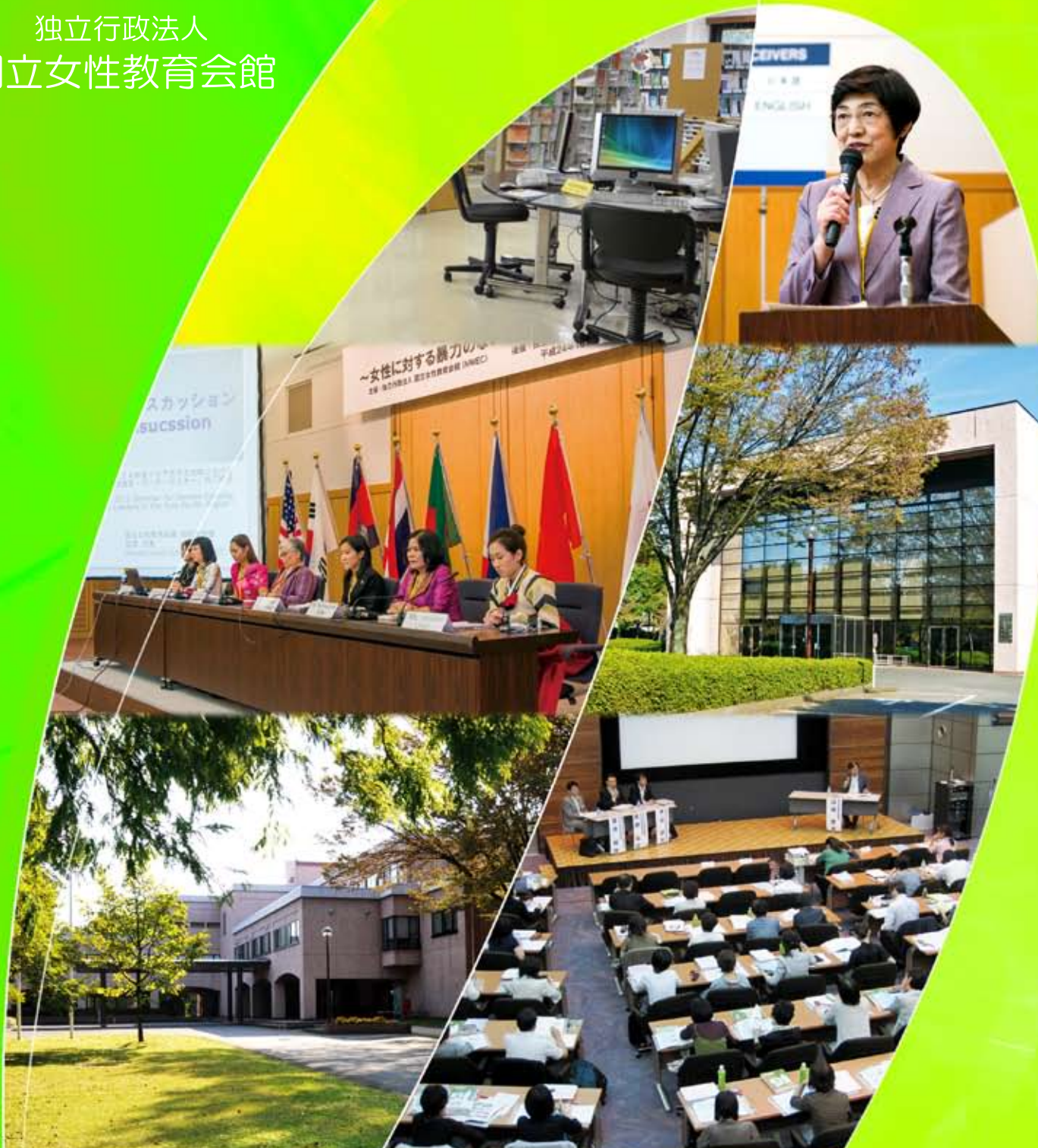




独立行政法人
国立女性教育会館



2013年 国立女性教育会館 概要

Guide to the National Women's Education Center of Japan

NWEC

学習・教育支援を通じ男女共同参画社会を実現するための推進機関—NWEC(ヌエック)

独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)は、我が国唯一の女性教育に関するナショナルセンターとして男女共同参画社会の形成を目指して、創設以来35年にわたり、女性教育指導者や関係者への研修や交流機会の提供、女性教育・家庭教育及び男女共同参画に関する専門的な調査研究、情報収集、提供の充実を図るなど、学習の拠点としての役割を果たしてきました。この間、男女共同参画を推進する多くの女性リーダーが育ち、様々な地域問題の解決に取り組むとともに、女性自身が社会に参画する力を付けてきました。NWECも全国の女性たちとのネットワークを形成し、共に学習プログラムを開発、関連する貴重な記録やデータを蓄積することで、男女共同参画社会の実現を図ってまいりました。

しかしながら、進学率の男女格差、政策・意思決定過程への女性の参画率の低さ、男性の育児休業取得率の低さなど多くの問題があり、男女共同参画社会実現は未だ道半ばにあると言えます。我が国において男女共同参画が進まない主な理由として、固定的役割分担意識が残っていること、男女共同参画が国民の共通意識となっていないこと、社会の各分野におけるリーダーの認識が不足していることなどが考えられ、社会全体として「意識の变革」への取り組みが重要な課題であります。

こうした状況を踏まえ、NWECは第3期中期目標・中期計画期間(平成23年4月～28年3月)の3年目を迎える平成25年度から事業を見直し、地域で男女共同参画を推進するリーダーや大学・企業・行政機関などの担当者に対する様々な教育・学習支援事業の実施を通じて、社会全体の「意識の变革」を進め、より積極的に社会の要請に応えられる機関となるよう、新たな事業の展開を図ってまいります。具体的には、情報収集と調査研究の2つの基盤的な事業を充実させ、男女共同参画を推進する組織やリーダーに対して専門情報や研修機会を提供し、各分野のリーダーが連携して課題解決に取り組むための国内外のネットワーク体制の構築を目指します。これらを通じ、「喫緊の課題である男女共同参画社会を実現するための推進機関」として、その機能を高めていく所存です。

理事長 内海 房子

愛称「ヌエック」:「ヌエック」は英語名称National Women's Education Centerの頭文字NWECを読んだものです。

目 次

目 的	3
沿 革	4
事 業	5
平成25年度事業	5
女性教育情報センター	6
女性情報ポータル“Winet”(ウィネット)	7
女性アーカイブセンター	8
刊行物等	9
利用状況	10
トピックス	12
決算・施設	16
利用案内	21
国立女性教育会館ボランティア	22
組織図	22
運営委員会委員、外部評価委員会委員	23



シンボルマーク

「両手を空に掲げ、希望に燃える女性像」をデザイン化したものです。

目 的

独立行政法人国立女性教育会館は、女性教育指導者その他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、もって男女共同参画社会の形成に資することを目的としています。

NWECは、その目的を達成するために文部科学大臣より示されている中期目標に基づき、「教育・学習支援」「研修」「調査研究」「情報」「国際連携」の5つを有機的に連携させつつ各事業を実施しています。



中期目標(平成23～27年度)

沿革

「国立婦人教育会館」から「独立行政法人国立女性教育会館」へ

昭和46年	7月	婦人教育会館調査研究協力者会議発足	平成9年	11月	開館20周年記念事業開催、シンボルマーク決定
昭和52年	7月	文部省の附属機関として国立婦人教育会館が設置される(庶務課(平成14年4月から「総務課」と改称)、事業課)	平成10年	3月	「WINET情報」創刊(平成14年3月 終刊)
	10月	受入れ事業開始	平成11年	1月	ホームページからWINETデータベース、研修室・宿泊室予約状況等を公開
	11月	開館式	平成12年	3月	ヌエック女性情報ニューシステム(ウィネットキャス=WinetCASS)公開
	12月	研修事業(全国婦人団体研究集会)開始	平成13年	1月	名称を「国立女性教育会館」と改称
昭和53年	3月	「会館だより」(昭和60年8月から「国立婦人教育会館ニュース」、平成9年4月から「ヌエックニュース」に誌名変更)創刊		4月	「独立行政法人国立女性教育会館」設立
	4月	情報交流課設置(平成14年11月から「情報課」に組織変更)		7月	「独立行政法人国立女性教育会館運営委員会」設置(8月第1回委員会開催)
	8月	国立婦人教育会館ボランティア登録開始	平成14年	11月	研究国際室設置
	9月	調査研究事業(婦人教育研究セミナー)開始	平成18年	1月	女子栄養大学と連携協定を締結
	12月	体育館・屋内プール完成		2月	日本女子体育大学と連携協定を締結
昭和54年	3月	日本家屋(響書院)・茶室(和庵)完成		4月	女性情報ポータル“Winet”(ウィネット)公開
	9月	婦人教育国内研修受入れ事業開始		4月	韓国両性平等教育振興院と交流・協力協定を締結
	10月	「婦人教育情報」創刊(平成9年3月終刊)		6月	利用者300万人を超える
	11月	情報図書室開室(昭和62年11月から「婦人教育情報センター」、平成13年1月から「女性教育情報センター」と改称)		9月	韓国女性開発院(現、韓国女性政策研究院)と研究交流・協力協定を締結
昭和57年	11月	開館5周年記念事業開催	平成19年	11月	開館30周年記念事業開催
昭和59年	11月	「NWEC Newsletter」創刊	平成20年	6月	女性アーカイブセンター開設
昭和60年	5月	情報協力者会議「婦人教育情報センター基本構想」を報告	平成21年	3月	フィリピン大学機構と学術協力に関する協定締結
昭和62年	5月	利用者100万人を超える		5月	中国延辺大学と研究交流・協力協定を締結
	11月	開館10周年記念事業開催、婦人教育情報センター開所(平成13年1月から「女性教育情報センター」と改称)	平成22年	4月	カンボジア王国女性省と交流と協力に関する協定締結
平成3年	7月	オンライン情報検索サービス開始(平成11年1月からホームページを通してWINETデータベースを公開)		9月	埼玉大学と連携協定を締結
平成5年	4月	事業課に研究員配置、科学研究費補助金取扱規程が規定する「研究機関」となる		11月	研修棟、宿泊棟等の改修工事に伴い休館(～平成23年2月)
平成6年	3月	パソコン通信システム「WINET-BBS」導入	平成23年	3月	「NWEC実践研究」創刊
	4月	国立婦人教育会館将来構想検討委員会「国立婦人教育会館の将来について」を報告			
平成7年	12月	ホームページをインターネットで公開			
平成8年	11月	利用者200万人を超える			
平成9年	1月	愛称を「ヌエック」に決定			
	10月	「国立婦人教育会館研究紀要」創刊(平成18年8月から「国立女性教育会館研究ジャーナル」に誌名変更、平成22年3月休刊)			

事業

国立女性教育会館は我が国唯一の女性教育に関するナショナルセンターとして、あらゆる分野における男女共同参画推進組織や担当者を支援するため、情報収集と調査研究の2つの基盤的な事業を充実させ、専門情報や研修機会を提供し、事業実施や組織運営等に関する支援などのサポートを行うとともに、各リーダーが連携して課題解決に取り組むための国内外ネットワーク体制を構築していきます。

■平成25年度事業

教育・学習支援事業

男女共同参画を推進する組織や担当者を対象として、事業の企画・運営等に関する包括的なサポートを実施。

- 教育・学習プログラムの開発
- 客員講師派遣

研修事業

地域・大学・企業等の各分野において男女共同参画を推進するリーダーの資質向上を目的とする研修を実施するとともに、交流により各分野のリーダーが連携して課題に取り組むための横断的ネットワークづくりを促進。

- 企業を成長に導く女性活躍促進セミナー(10月)
- 女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修(6月)
- 大学等における男女共同参画推進セミナー(11月)
- 男女共同参画推進フォーラム(仮称)(8月)
- 男女共同参画の視点に立った多様なキャリア形成支援研修(仮称)(地方開催)
- 女子中高生夏の学校2013 ～科学・技術者のたまごたちへ～(8月／科学技術振興機構委託事業(予定))
- 女性関連施設相談員研修(2月)
- 女性情報アーキビスト養成研修(入門)＋(実技コース)(12月)

調査研究事業

男女共同参画を推進する組織・担当者が活用しやすく、かつその活動の成果に結びつく、実践的な調査研究を充実。

- 大学等における男女共同参画に関する調査研究
- 男女共同参画の視点に立った若者のキャリア形成支援に関する調査研究
- 女性関連施設に関する調査研究
- 男女共同参画統計に関する調査研究
- 外国人女性の困難等への支援に関する調査研究
- その他、科学研究費助成事業による研究

情報事業

男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する基本的かつ全国的な専門資料・情報を収集し、男女共同参画の推進に必要な取組みの企画・実施に役立つ情報・資料として、関係組織や担当者に提供。

- 情報資料の収集・整理・提供(大学・企業関係資料の充実)
- 女性情報ポータルとデータベースの整備充実
- 図書のパッケージ貸出
- 「NWEC実践研究」の発行
- 女性アーカイブ機能の充実と全国の女性アーカイブとのネットワークの強化

国際連携事業

ナショナルセンターとして、男女共同参画を推進する海外の機関や担当者との連携体制の構築・強化を図るとともに、得られた情報を国内外に発信。

- アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー(9月～10月)
- NWEC国際シンポジウム(10月)
- 地域別研修「アジア諸国における人身取引対策協力セミナー」(10月～11月／国際協力機構委託事業)

■ 女性教育情報センター

女性教育情報センターは、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する分野の学習・調査・研究に資するため内外の資料・情報を収集・整理し、提供するとともに、各種データベースを作成し、Web 上で公開しています。
(<http://www.nwec.jp/jp/center/>)

情報サービス

閲覧

女性教育情報センター内で自由に閲覧できます。

貸出

会館内貸出及び会館外貸出、女性センター・図書館等を通した館外貸出を行っています。

図書パッケージ貸出サービス

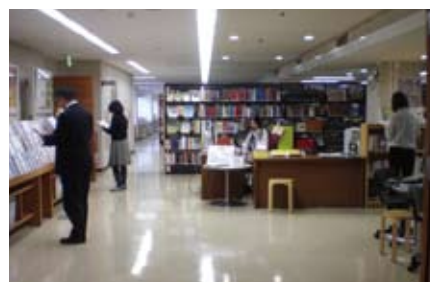
大学や女性関連施設、公共図書館を対象にさまざまなテーマにあわせて図書をまとめて貸出すサービスを行っています。

レファレンスサービス

利用者の学習・調査・研究を援助するために、当センター所蔵の資料や各種データベースを活用してさまざまな質問に答えています。直接来館の他、電話や文書、Eメールでも受付けています。

文献複写サービス

所蔵資料について、文献複写サービスを行っています。直接来館の他、電話やインターネット・文書による申込みも受付けています。



情報研修プログラムの提供

利用者の希望に応じて、資料・情報の検索・利用方法等の実技研修を随時行っています。

展示の実施

所蔵資料の紹介を目的とする展示を行っています。



収集資料(平成24年3月31日現在)

		和		洋		計	
		23年度受入	累 計	23年度受入	累 計	23年度受入	累 計
図書	図書	3,565	75,009	388	22,208	3,953 ※ ²	97,217
	地方行政資料	409	25,478	—	8	409	25,486
	計(冊数)	3,974	100,487	388	22,216	4,362	122,703
逐次刊行物	雑誌	62 中止 20	3,206	2 中止 14	731 (62カ国)	64	3,937
	新聞	—	74	—	1	—	75
その他	新聞切り抜き記事	19,501	323,111	—	—	19,501	323,111
	AV資料※ ¹	38種	187種	0	4種	38種	191種
	研修貸出用資料※ ¹	—	15	—	—	—	15

■女性情報ポータル“Winet”（ウィネット） ——(<http://winet.nwec.jp>)——

女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の窓口です。
“Winet”は下記3つの要素で構成されています。

女性情報ナビゲーション

リンク集。インターネット上の有用な資源への道案内。

女性情報CASS

会館作成のデータベース及び他の関係機関のデータベースの横断検索。



国立女性教育会館作成データベース（件数は平成24年3月現在）

（女性教育情報センター所蔵資料のデータベース） 文献情報データベース	図 書 (79,633件)	一般出版社が刊行した図書、中央省庁の調査・報告書、企業の調査資料、女性団体・グループ刊行の資料等を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワードから検索できます。
	雑 誌 (3,937件)	一般出版社の雑誌、大学・研究所等の紀要類、地方自治体発行の男女共同参画広報誌、女性団体・グループが発行したミニコミ等を検索できます。
	地方行政資料 (21,143件)	地方自治体の男女共同参画担当課／教育委員会等が刊行した資料を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等から検索できます。
	和雑誌記事 (62,718件)	所蔵雑誌から選定した男女共同参画及び、女性・家庭・家族に関する記事を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等から検索できます。
	新聞記事 インデックス (323,111件)	以下の新聞記事を見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードから検索できます。 [昭和52年10月～昭和63年]全国紙・地方紙約60紙に掲載された、話題となった女性(人材)に関する記事。記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録しています。 [平成元年度以降]全国紙・地方紙約45紙に掲載された男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する記事。
女性関連施設データベース (概要636件/事業24,024件 情報事業369件/相談事業319件)		全国の女性/男女共同参画センター・働く婦人の家・農村婦人の家の概要、学習・研修事業、情報事業、相談事業について、毎年調査した、各施設の現在の活動がわかるデータベースです。
国立大学における 男女共同参画状況データベース (86大学)		(社)国立大学協会『国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第7回追跡調査報告書』の教員データ、男女共同参画室等の状況がわかるデータベースです。
女性学・ジェンダー論 関連科目データベース (1,068大学、28,168科目)		大学、短大等の女性学・ジェンダー論関連科目について、平成12～20年度の調査結果から科目内容、担当教員名、等の情報を調べることができるデータベースです。
女性と男性に関する 統計データベース (551件)		女性及び男性の状況を把握する上で重要な日本の統計を、あらゆる分野にわたってとりあげたデータベースです。統計表は、エクセル形式でダウンロードできます。
男女共同参画人材 情報データベース (744件)		男女共同参画社会推進のための事業企画、また施策の実施に参考となる会館の各種事業にご協力いただいた講師、委員等の人材情報データベースです。

女性情報シソーラス

女性に関する情報を効率よく検索するための用語集で、Winet の各データベースへ組込まれています。五十音順リストとカテゴリー一覧、また用語やカテゴリーから検索できる用語データベースも提供しています。

女性情報レファレンス事例集(232件)

女性関連施設でよくある情報相談(レファレンス)を、Q&Aの形式でまとめた事例集です。男女共同参画に関わる様々な情報をお探しの方、また情報提供に携わるスタッフに役立つ事例を提供しています。

女性のキャリア形成支援サイト

女性が様々な新しい分野へチャレンジし、生涯にわたり、主体的に選択しながらキャリアを形成していくため、多様な事例(ロールモデル)、キャリア形成のための学習支援情報、関連情報を提供しています。

海外女性情報専門データベース

館内で利用可能なデータベースです。

1. Contemporary Women's Issues

雇用・人権・健康など女性の生活にかかわる諸問題を取り上げた世界190カ国以上の定期刊行物や団体雑誌約2,400誌を収録するデータベースです。

2. Gender Watch

女性問題に関する学術雑誌のほか、新聞、ニュースレター、パンフレット、会議録など148,000件以上の全文記事を収録しています。

3. The Gerritsen Collection

The Gerritsen Collectionはオランダの最初の女性医師Aletta Jacobsとその夫C.V.Gerritsenが収集した女性に関する研究資料コレクションです。

■女性アーカイブセンター

男女共同参画社会の形成に顕著な業績を残した女性、全国的な女性団体や、女性教育・男女共同参画施策等に関する史・資料を収集しています。

収集・整理した史・資料は、女性デジタルアーカイブシステム(<http://w-archive.nwec.jp/>)を通じて広く一般に公開し、展示、閲覧サービスを行っています。

展示室では所蔵資料の展示を行い、年に1度「チャレンジした女性たち」をテーマにさまざまな分野においてチャレンジした女性たちのあゆみをたどる企画展示を行っています。

平成22年1月に公開した全国女性アーカイブ所在情報データベース(http://winet.nwec.jp/w-archive_japan/)で国内の女性アーカイブ所蔵機関の情報を提供しています。

女性アーカイブに関わる実務者を対象に資料の管理、活用等に関する研修を行っています。



刊 行 物 等

資 料 名		内 容	発 行
定 期 刊 行 物	NWEC 実践研究 (第3号 課題解決型学習)	女性のエンパワーメント、男女共同参画の推進に関する研究報告、女性関連施設や女性団体の実践活動等を掲載	年1回
	ヌエックNews	会館の事業及び関連情報の紹介・広報	年2回
	NWEC Newsletter	会館の活動状況及び日本の女性の現状等について、英文で海外に情報発信	年2回
	NWEC 男女共同参画統計ニュースレター	国内外の男女共同参画統計に関する取組等を発信	年3回
	国立女性教育会館 主催事業等実施報告書	各年度に実施した研修・交流・調査研究・情報事業の実施概要	年1回
報 告 書 等	「平成22年度女性のエンパワーメント国際 フォーラム」報告書	「女性のエンパワーメント国際フォーラム」の抄録及び「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」の成果	平成22年度
	経済的自立につながる女性の課題解決型 地域活動に関する調査研究	地域の課題解決のための活動に参加する女性の経済的自立についての現状と課題を分析・検討することを目的とした調査研究	平成22年度
	子ども・子育て支援を通じた身近な男女 共同参画の推進 — 男女共同参画を推進する施設や団体がおこなう子育て支援と地域づくり —	次世代育成支援を通じて地域の身近な男女共同参画を推進していくため、子育て支援団体等と女性関連施設や女性団体の連携・協働や、ネットワーク形成の方策について検討した調査研究	平成22年度
	人身取引(トラフィッキング)問題について 知る2011	人身取引に関する参考資料として平成20年に作成した「人身取引(トラフィッキング)問題について知る」の内容を、一部改稿及びデータ更新	平成22年度
	女性関連施設の連携・協働事業に関する 事例集	地域における男女共同参画に関する課題解決に向けた実践に向けて、女性関連施設が地域の様々な機関・団体等と連携するための事例集	平成22年度
	男性の地域活動及び男女共同参画に関 するアンケート調査 — 全国の女性関連施設との連携協力に もとづく調査 —	全国的女性関連施設との連携協力にもとづく「男性の地域活動及び男女共同参画に関するアンケート調査」(地域活動をおこなう男性対象)及び「男性を対象とした調査・事業に関するアンケート調査」(連携協力した女性関連施設対象)の結果	平成23年度
	韓国における女性への起業支援と 地域の活性化 — 韓国調査報告 —	韓国のコミュニティ・ビジネスと起業支援・最終就労支援の調査から地域課題解決のための活動が、女性の経済的自立につながる課題と可能性を明らかにする	平成23年度
	「平成23年度NWEC国際シンポジウム」 報告書	「NWEC国際シンポジウム」の抄録及び「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」の成果	平成23年度
	女性関連施設の指定管理者導入施設に 関する調査報告・事例集	平成15年9月の地方自治法の改正による公の施設への指定管理者制度の導入から8年が経過し、女性関連施設にも導入が進んだ指定管理者に焦点をあてた調査研究の報告・事例集	平成23年度
	男女共同参画統計データブック — 日本の女性と男性 — 2012	社会全体の中の女性と男性の状況を把握するためのデータ集。人口、労働力と就業、企業、自然災害など15分野にわたる。平成23年3月11日の東日本大震災に対応して「自然災害」を、ワーク・ライフ・バランスが大きな課題となっているため「企業」を取り上げた(有料頒布)	平成23年度
	ミニ統計集「日本の女性と男性2012年」	日本社会の重要な分野での女性と男性の状況を7項目にわたってリーフレット(英語版あり)	平成24年度

※定期刊行物等の閲覧について／定期刊行物であるヌエックNews、NWEC Newsletter は、NWEC のホームページ(<http://www.nwec.jp/>)でどなたでも閲覧できます。報告書等については、国立女性教育会館までお問い合わせください。

利用状況

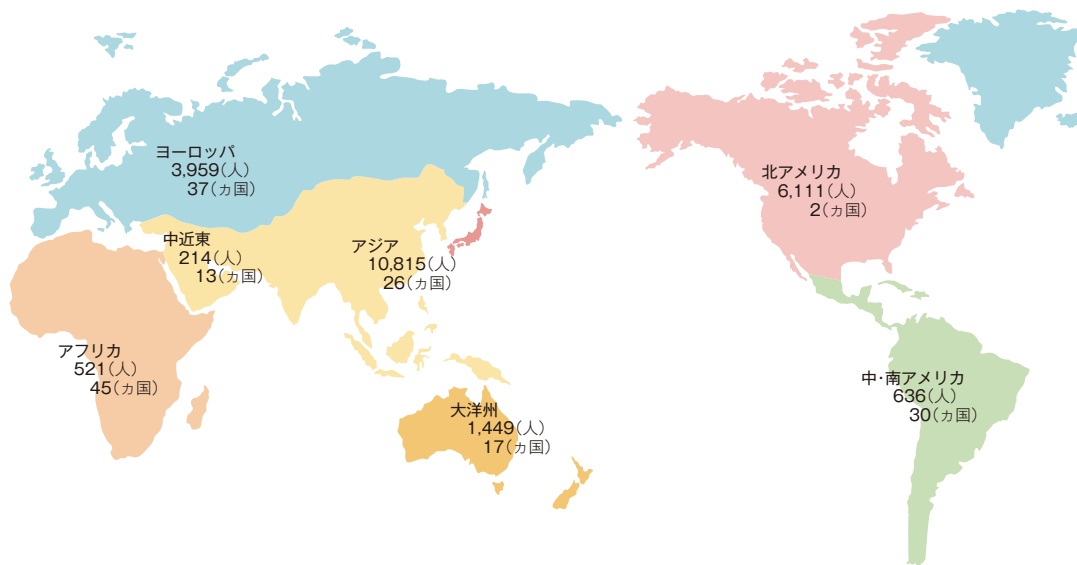
年度別利用状況 (昭和52年度～平成23年度)

年 度	平成21年度			平成22年度			平成23年度			累計(昭和52年～)		
項 目	宿泊利用	日帰り利用	小 計	宿泊利用	日帰り利用	小 計	宿泊利用	日帰り利用	小 計	宿泊利用	日帰り利用	合計
利用団体数	1,242	2,861	4,103	955	1,947	2,902	914	2,126	3,040	35,819	38,067	73,886
実利用者数(人)	38,167	78,678	116,845	30,357	57,497	87,854	26,404	60,770	87,174	1,247,766	1,132,944	2,380,710
延利用者数(人)	79,861	78,678	158,539	61,477	57,497	118,974	53,331	60,770	114,101	2,687,362	1,132,944	3,820,306
1日当たりの利用者数(人)	236	233	469	247	231	478	166	189	354	237	100	337
開館日数(日)			338			249			322			11,324

外国人の利用状況

地域別来館状況

国際会議、国際交流、見学等を目的とする外国人の利用状況は、開館以来平成24年3月末で、170カ国から、23,705人となっています。



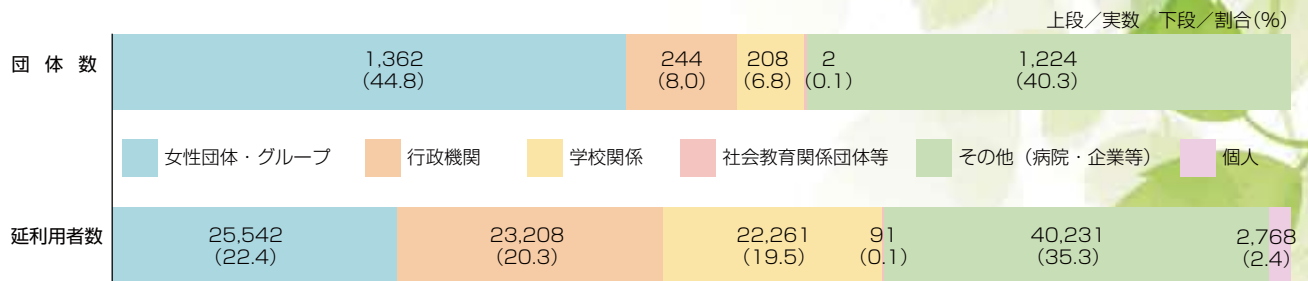
女性教育情報センター利用状況 (昭和54年度～平成23年度)

事項	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	累計(昭和54年～)
資料等利用者総数(人) ※		9,263	7,278	8,185	48,992
貸出数	図書(冊)	1,490	5,518	10,094	76,388
	雑誌(冊)	857	694	997	30,648
	研修用貸出資料(冊)	1,106	634	165	41,086
レファレンスサービス(件数)		1,063	685	898	36,185
文献複写サービス(件数)		1,476	845	928	15,412
館外貸出サービス(件数)		268	171	245	2,549
情報研修プログラム(件数)		7	7	7	369
情報研修プログラム(人数)		40	113	71	8,547
開室日数(日)		338	236	323	10,553

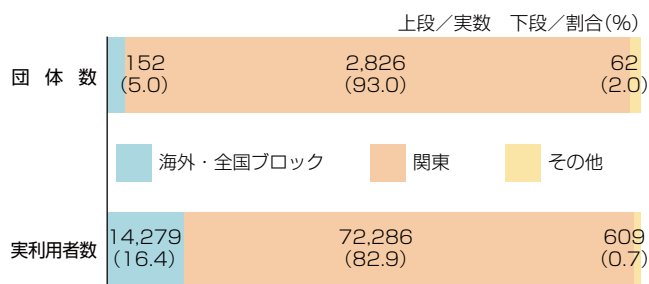
※資料等利用者総数は、平成18年度より集計
■レファレンスサービス 昭和56年度開始 ■文献複写サービス 昭和56年度開始 ■相互貸借サービス 平成4年度開始
■図書パッケージ貸出サービス、図書個人貸出サービス 平成22年度開始

■ 利用内訳(平成23年度)

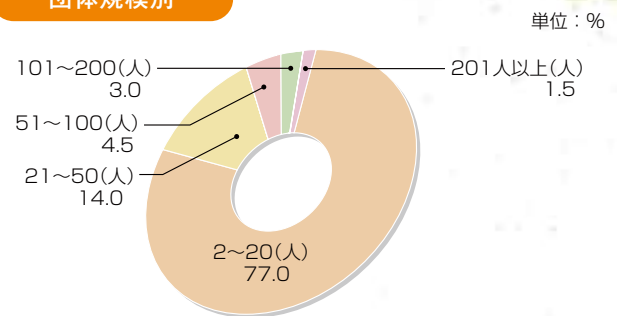
主催者別



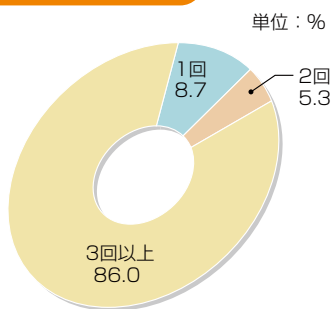
地域別



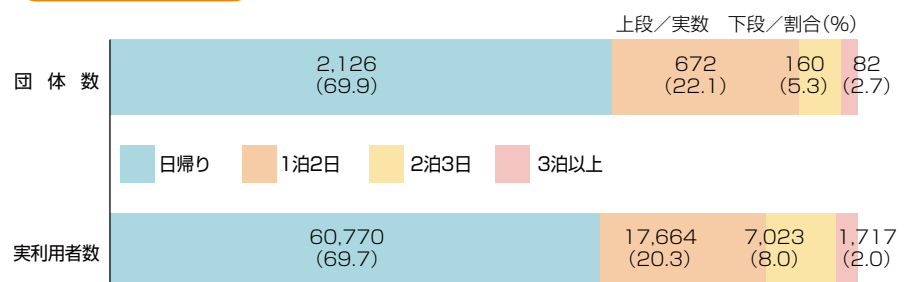
団体規模別



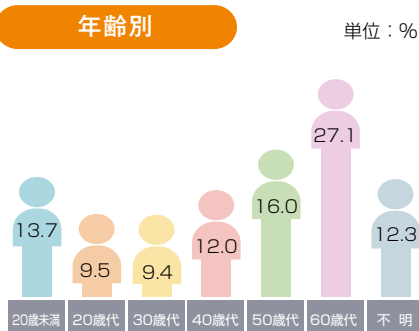
回数別



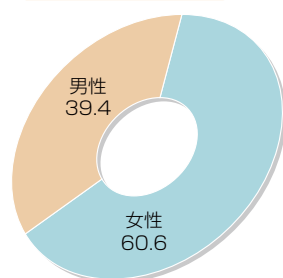
日数別



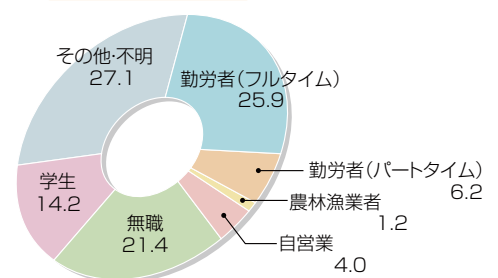
年齢別



男女別



職業別





時期	項目
3月	<p>「交流学习会議」開催</p> <p>3月9日(金)～10日(土)の1泊2日で、『地域で男女共同参画を推進するためには―「人材育成」「組織の基盤強化」「連携・協働」のあり方を探る』をテーマに行いました。</p> <p>参加者は、これまで会館の研修・交流事業に参加した後、各地域でネットワークを構築し、実践活動を行っている女性団体・グループ、男女共同参画等行政担当者、女性関連施設関係者など128名です。</p> <p>特別講演「男女共同参画社会の実現に向けて」の他、会館による最新情報の提供、全国の先進事例報告を受けての討議を行いました。全体会、意見交換会ではそれぞれの課題を共有し、今後地域に持ち帰って生かせる実践的な学習ができました。</p> <p>参加者からは、「女性の力がついてきて組織として活動する力が高まっていることを実感させられた」「全国の方々と交流できて良かった。先輩の方々に多くのエネルギーをいただき後に続かねばとの思いを強くした」等の感想が寄せられました。</p>
4月	<p>女性情報ポータル“Winet”英語版公開</p> <p>「NWECが提供する情報、日々更新する情報をユーザーにもっと届きやすく、見える化する」をコンセプトに、リニューアルした「女性情報ポータル“Winet”(ウィネット)」の英語版を作成、4月に公開しました。</p> <p>各データベースは、グーグル翻訳を使うことにより、英語によるアクセスが可能になりました。</p>
5月	<p>「家庭教育・次世代育成指導者研修」開催</p> <p>5月18日(金)～19日(土)の1泊2日で、「社会全体で支える子育て・子育て」をテーマに82名の参加を得て行いました。</p> <p>男女共同参画の視点から、講義、パネルディスカッションや分科会などを通して、特に、子育て支援のあり方とワーク・ライフ・バランスの推進や男性の子育て支援活動への参画、東日本大震災を通して顕在化した災害時の子育て支援などの課題を把握し、社会全体で子育て・子育てを支える取り組みを実践していく上での方向性・方策を共有しました。</p>
6月	<p>女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」開催</p> <p>6月13日(水)～15日(金)の2泊3日で、全国から132名の参加を得て、地域で男女共同参画を推進するための組織のあり方や関係機関の連携・協働関係を支援することを目的に開催しました。</p> <p>内閣府・文部科学省・厚生労働省の施策説明、堂本暁子(前千葉県知事)氏の講義、コース別ワークショップ等を通して、参加者は男女共同参画推進者として備えるべきマネジメント力やリーダーシップ等について学びました。</p> <p>NWECからは、「男性の家庭・地域への参画を促進するための調査研究」発表や、国連本部(ニューヨーク)で開催された「第56回国連女性の地位委員会」の報告が行われました。</p>



時期	項 目
8月～12月	<p>女性アーカイブセンター企画展示 「建築と歩む～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」開催</p> <p>8月7日(火)～12月9日(日)まで、女性アーカイブセンター企画展示「建築と歩む～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」を開催しました。</p> <p>さまざまな分野においてチャレンジした女性たちのあゆみから、日本の男女共同参画社会を考えるシリーズ企画5回目となる展示では、UIFA JAPON(国際女性建築家会議日本支部)パイオニア展企画委員会ほか多くの団体・機関の協力を得て、日本における女性建築家の軌跡を、人物紹介パネルや建築模型などの資料を通して紹介しました。</p> <p>期間中4000名余りが訪れています。</p> 
8月	<p>「女子中高生夏の学校2012～科学・技術者のたまごたちへ～」開催</p> <p>8月9日(木)～11日(土)の2泊3日で、女子中高生に理系進路選択の魅力を伝えるため、科学技術振興機構からの委託事業として開催しました。全国から118名の女子中高生、30名の保護者・教員が参加しました。</p> <p>キャリア講演など各プログラムでは、女子中高生たちが積極的、意欲的に参加する姿が見られました。保護者・教員向けプログラムでも活発な話し合いが行われ、参加者の女子理系進路選択への関心の高さがうかがえました。「才媛双六」をはじめ、現役の大学生や大学院生による工夫が凝らされた企画も関心をよびました。</p> <p>参加した女子中高生からは、「楽しかった」「理系への進路がはっきりした」「大学生になってまた戻ってきたい」等の感想が寄せられました。</p> <p>「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム(NWECフォーラム)」開催</p> <p>8月24日(金)～26日(日)に、「男女共同参画社会への展望」をテーマに開催しました。シンポジウム「女性の活躍による新たな社会の創出に向けて」では、企業、NPO、研究者、大学等の立場のパネリストから、問題提起がなされました。</p> <p>3日間にわたり、「第3次男女共同参画基本計画」を参考に設定したテーマに基づき、60件のワークショップを実施しました(全国からの応募53件、会館提供7件)。</p>  
10月	<p>「女性関連施設相談員研修」開催</p> <p>10月17日(水)～19日(金)の2泊3日で実施し、公私立の女性会館・女性センター等の女性関連施設で、女性の悩みに関する相談業務に携わる相談員100名が参加しました。</p> <p>配偶者からの暴力、外国人女性の困難、人間関係に関する悩み等喫緊の課題解決に必要な相談技能の向上を目的に、関連機関との連携、関係法知識、国の施策説明等を学習しました。参加者は、女性相談の基本的なあり方、相談技法、関係機関との連携の重要性を知るとともに、相談員自身の心や体の健康を維持するメンタルセルフケアについても、理解を深めることができました。</p> 

時 期	項 目
10月	<p data-bbox="272 275 1230 349">「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」及び「NWE C国際シンポジウム」開催</p> <p data-bbox="272 398 1034 495">10月18日(木)～27日(土)に「女性に対する暴力の根絶に向けて」をテーマとして開催し、5ヵ国9名の研修生が参加しました。</p> <p data-bbox="272 501 1034 566">研修生は、内閣府や文部科学省を訪問し、日本政府の男女平等施策についての理解を深めました。</p> <p data-bbox="272 573 1422 739">東日本大震災の被災地である岩手県を訪問し、地域の男女共同参画推進拠点としてもりおか女性センターが実施している研修・相談事業について学び、職員と意見交換を行いました。被災地の宮古市田老地区へも赴き、被災女性の経済的自立支援事業「デリバリーケアプロジェクト」を視察しました。</p> <p data-bbox="272 745 1422 947">27日(土)には「女性に対する暴力のない社会の構築に向けて」をテーマとした「NWE C国際シンポジウム」を開催。第一部では、ナンシー・キャラウェイ(ハワイ大学)氏より基調講演、第二部パネルディスカッションの前半はリーダーセミナー研修生代表による報告。後半はバングラデシュで女性の人権擁護のために活動しているカムルン・ナハール(NGOナリポッコ)氏、竹信三恵子(和光大学教授)氏、大津恵子(人身売買禁止ネットワーク(JNATIP)共同代表)氏による提言が、事例も交えて報告されました。</p> <p data-bbox="301 954 1366 981">会場からは各国の女性に対する暴力の根絶について活発な質疑応答が行われました。</p> 
11月	<p data-bbox="272 1048 1326 1081">JICA地域別研修「アジア諸国における人身取引対策協力促進セミナー」開催</p> <p data-bbox="272 1131 1034 1263">10月29日(月)～11月10日(土)まで、国際協力機構(JICA)の委託を受け、アジア太平洋地域の人身取引対策に携わる関係者を対象として実施しました。人身取引についての課題別研修は、日本で初めて行われたものです。</p> <p data-bbox="272 1270 1034 1435">フィリピン、カンボジア、ミャンマー、タイ、ラオス、ベトナムの6ヵ国から24名が参加し、前半は課題別地域研修を、最後の3日間はタイ、ミャンマー、ベトナム3ヵ国の国別研修として実施され、日本の関係省庁や自治体、民間団体等を訪問し、講義や意見交換、見学を通じて日本の人身取引対策の取組みを学びました。</p> <p data-bbox="272 1442 1422 1507">各国からの発表やグループ討議を通じて、関係機関の機能強化を図り、国を越えた連携とネットワークの重要性について理解を深めました。</p>  <p data-bbox="272 1563 1054 1597">男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)開催</p> <p data-bbox="272 1653 1034 1718">11月6日(火)～9日(金)の4日間にわたり開催し、延べ582名が参加しました。</p> <p data-bbox="272 1724 1034 1856">本事業は、女子栄養大学、日本女子体育大学、会館ボランティア等の協力を得て、男女共同参画への理解と参加団体相互の交流やネットワークづくりを支援することを目的に実施しているものです。</p> <p data-bbox="272 1863 1034 1960">国立女性教育会館提供プログラムとして「男女共同参画について学ぶための講座」を5つ、「時事プログラム」を2つ、「文化プログラム」を3つ、「NWE C・比企紹介プログラム」を2つ実施しました。</p> <p data-bbox="272 1966 1422 2063">中でも、天野和彦(福島大学特任准教授)氏による「あの時避難所は…“おだがいさま”が支えた169日間～ビックバレットふくしま避難所が教えてくれたこと」の講義には参加者の強い関心が寄せられました。</p> 

時期	項目
11月	<p>「大学等における男女共同参画推進セミナー」開催</p> <p>11月29日(木)～30日(金)の1泊2日で開催し、大学・高専等の意思決定組織に所属する教職員や男女共同参画推進担当者など90名が参加しました。</p> <p>大学における男女共同参画推進の必要性や女性研究者支援、女子学生へのキャリア形成支援に関する講義や企業の事例発表等を通じ、学内で男女共同参画をどう進めるかについて学びました。</p> <p>分科会では、事例報告やグループ討議等を通じ、自校の男女共同参画推進上の課題解決について考えました。</p> <p>参加者からは「充実したプログラムで学ぶことが多かった」「課題解決につながる多くのヒントが得られた」「情報共有のネットワークが得られた」等の感想が寄せられました。</p> 
12月	<p>女性情報アーキビスト養成研修(入門)＋(実技コース)開催</p> <p>12月5日(水)～7日(金)の3日間にわたり、44名(入門32名、実技コース12名)の参加を得て行いました。資料の保存と活用の基礎を身につけるための「入門」に加え、要望の多かった「実技コース」を新設しました。</p> <p>「入門」では、女性アーカイブや著作権に関する基本的な知識とともに、資料保存やアーカイブ構築の現場で働く講師により、実務の最新情報が提供されました。</p> <p>「実技コース」では、デジタルアーカイブの事例紹介と参加者が持参した資料のデジタル撮影実習を行いました。その画像とタイトル等はNWECDigitalアーカイブシステムへ試験的に搭載し、参加者の実習成果を確認できるようにしました。紙資料の保存や修復のための実習では、講師の実演・指導を交えて行いました。</p> <p>「企業を成長に導く女性活躍促進セミナー」開催</p> <p>12月14日(金)～15日(土)の1泊2日で、企業において女性の活躍が一層促進されることを目的に実施し、62名が参加しました。企業の人材活用推進者を対象とした研修は、NWECDでは初めての試みでした。</p> <p>山ロー男(シカゴ大学教授)氏の基調講演では、企業を成長に導くためにはダイバーシティ・マネジメントが必要なことを、豊富なデータとともに語られました。</p> <p>パネルディスカッションでは、古道義成(NECソフト株式会社代表取締役執行役員社長)氏、高松和子(YAMAGATA INTECH株式会社顧問)氏らが、女性の活躍促進を阻む長時間労働の恒常化や女性社員のロールモデル不足などの問題について意見を交換しました。</p> <p>ワークショップでは、多様な視点から課題解決を図る手法で解決方策を探りました。</p> 
1月	<p>「男女共同参画の視点に立った多様なキャリア形成支援研修」開催</p> <p>1月10日(木)～12日(土)の2泊3日で開催し、全国的女性関連施設・社会教育施設職員、団体・NPOのメンバー、大学等キャリア教育担当教職員等、56名が参加しました。</p> <p>この研修では、新たなキャリア概念のとらえ直しや国の最新施策の把握、課題解決に向けた事業計画案づくりなど、支援者としての力量形成を目指して専門的・実践的に学びました。</p> <p>参加者からは「『キャリア＝職業』というイメージがあったが、新たな視点で考えることができた」「具体的な事業計画案づくりのプロセスが参考になったので実践したい」等の感想が寄せられました。</p> 

決 算 ・ 施 設

■ 決算

(平成23年度、単位：百万円)

収 入		支 出	
運営交付金	562	業務経費	343
入場料等収入	84	一般管理費	260
その他	29	その他	21
合 計	675	合 計	624

■ 施設

東京・池袋(東武東上線)より所要時間約60分、武蔵嵐山駅西口より徒歩約12分、清流の都幾川に沿う緑豊かな丘陵地で、秩父連山を遠くに望む景勝の地です。

施設は10ヘクタールの敷地に自然との調和を配慮し、「陽に向かい陽に帰る」の考えで、東側に研修棟、西側に宿泊棟、中央に池を配置しています。



■ 棟別階数・構造及び面積等

名 称	構 造 ・ 階 級	延 床 面 積
本館(うち女性教育情報センター)	鉄筋コンクリート造3階・地下1 階建	8,509㎡(1,085 ㎡)
宿泊棟	A棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造8階・地下1 階建	8,660 ㎡
	B棟 鉄筋コンクリート造4 階建	
	C棟 鉄筋コンクリート造3 階建	
研修棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造3 階建	7,470㎡
体育館	鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建	1,206㎡
響書院(ひびきしよいん)	木造平屋建	198㎡
和庵(なごみあん)、茶室	木造平屋建	18㎡
車庫等		914㎡

所在地……………埼玉県比企郡嵐山町
菅谷728番地

設計……………日建設計

監理……………建設省関東地方建設局
営繕部 日建設計

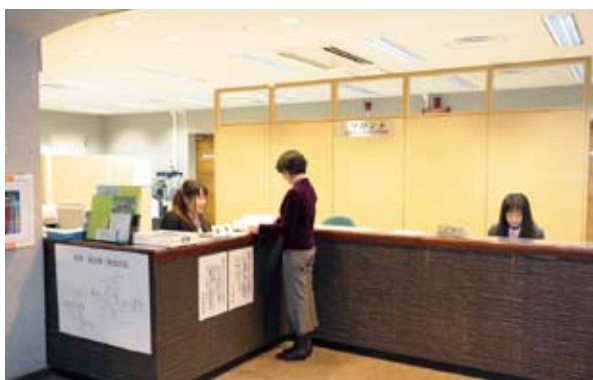
敷地面積……………102,252㎡

建築総面積……………11,857㎡

延床総面積……………26,975㎡

■本館・実技研修棟

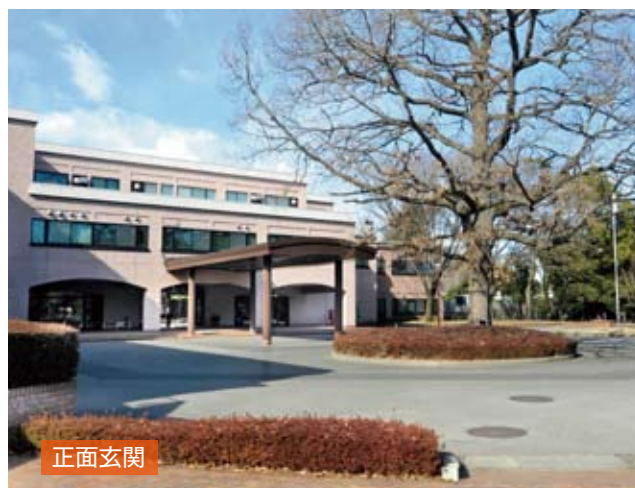
！ 各施設の利用時間、料金・備品等 詳細については会館HPまたは予約係(TEL:0493-62-6723)までお問合せください。



フロント

■利用申込受付時間:8:30～17:00

■フロント業務:8:00～22:00



正面玄関



女性教育情報センター

■座席数 22席 ■開室時間 9:00～17:00

■施設使用料(無料)



女性アーカイブセンター閲覧室

■座席数 6席 ■開室時間 9:00～17:00



女性アーカイブセンター展示室

■開室時間 9:00～19:00



音楽室

■利用定員 約50人 ■利用時間 9:00～21:00

■施設使用料 500円～1,600円



美術・工芸室

■利用定員 約30人 ■利用時間 9:00～21:00

■施設使用料 400円～1,500円



幼児室

■利用定員 約20名 ■利用時間 9:00～21:00

■施設使用料(無料)



調理室

■利用定員 約30人 ■利用時間 9:00～21:00

■施設使用料 500円～1,700円



試食室

■利用定員 約30人 ■利用時間 9:00～21:00

■施設使用料 300円～1,000円



食堂

■座席数 300席 ■営業時間(朝食 7:30～8:30 / 昼食 11:30～13:30 / 夕食 18:00～20:00)

■料金1食700円～1,000円程度が目安

売店

■営業時間:8:30～21:30

医務室

駐車場

■普通車170台、大型車(バス)20台



宿泊棟 A棟

■ 宿泊研修施設



洋 室



和 室

(平成24年3月より)

種 別	内 容	A 棟 (バス・トイレ付)	B棟 (トイレ付)	C 棟 (トイレ付)	室 数	施設使用料(1人当たり)
洋 室	1人用 39室	39室	——	——	137室	2,600円~4,000円
	2人用 98室	58室	28室	12室		2,200円~3,800円
和 室	2人用 2室	2室	——	——	24室	2,400円~3,800円
	4~5人用 22室	——	14室	8室		2,200円~3,600円
宿 泊 室 合 計		99室	42室	20室	161室	——



ミーティングルーム A棟2F

■利用定員 約50人 ■利用時間 9:00~24:00
■施設使用料 300円~1,300円
(21時以降は追加料金がかかります)



談話室 B棟1~4F、C棟1~3F

■利用定員 約20人 ■利用時間 15:00~24:00
■施設使用料 無料



共同浴室

A棟とB棟の間の廊下(大浴場、小浴場)、

■大・小 各1室
■利用時間 17:30 ~ 22:30
(宿泊者数により開設しない日があります)

■ 研修棟

！ 各施設の利用時間・料金・備品等 詳細については
予約係(TEL:0493-62-6723)までお問合せください。



研修棟



講 堂

■ 利用定員 602人
■ 施設使用料 4,700円～17,000円



大会議室

■ 利用定員 160人(傍聴席38を含む)
■ 施設使用料 1,600円～5,200円



中会議室

■ 利用定員 40人
■ 施設使用料 500円～1,900円



小会議室

■ 利用定員 12人
■ 施設使用料 300円～1,200円



研修室 1～3F

研修室	室 数	施設使用料(円)
150人室	1	1,100円～3,300円
99人室	1	800円～2,500円
48人室	4	400円～1,400円
36人室	1	400円～1,300円
24人室	2	300円～800円
20人室	6	300円～800円



マルチメディア研修室

■ 利用定員:30人
■ 施設使用料 800円～1,800円
(夜間のご利用はできません)



団体控室

■ 利用定員 1室12人用
■ 施設使用料 200円～600円

講師控室

■ 利用定員 1室4～5人用
■ 施設使用料 100円～300円

利用時間 午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00 夜間 18:00～21:00

■ 体育施設・日本家屋等



体育館

バレーボール、バドミントン、フットサルなどの各種室内スポーツに使用できます。【バレーボール2面、バドミントン3面、フットサル1面】

■施設使用料 3,500円～11,300円

■備品:卓球台(10台)、壁面に鏡、更衣室、コインロッカー、シャワー、貸出用具類あり



テニスコート

全天候型スパイクサンドコート。宿泊利用の方は、日没までと翌朝もご利用になれます。【2面】

■施設使用料 1,700円～2,200円(1面当たり)

■要予約 宿泊利用団体優先に予約受付。空き状況については、会館HPまたは予約係までお問い合わせください。予約係 TEL:0493-62-6723



ひびきしよいん

日本家屋「響書院」

茶道、華道、着付け、かるた(百人一首)、作法教室など日本伝統・芸術・文化に関する学習や交流にご利用いただけます。【茶室2部屋(15畳、4.5畳)／座敷1部屋(10畳)】

■施設使用料 1,200円～4,000円



なごみあん

茶室「和庵」

京都裏千家家元の今日庵の「又隠(ゆういん)」を模した本格的な茶室です。【茶室(4.5畳)】

※響書院とあわせて貸出いたします。夜間のご利用はできません。

利用時間 午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00 夜間 18:00～21:00

都幾川の桜並木



利用案内

■利用できる方

女性・男性を問わず、ご利用になれます。

- 18歳未満の方には、保護者・教員等の引率(同伴)が必要です。
※保護者、引率者がいない場合にはご相談ください。
(宿泊を伴わない女性教育情報センターのみの利用の場合には中学生からご利用いただけます。)
- 未就学の方の同伴利用については、次の場合とさせていただきます。
①利用プログラム上必要な場合 ②幼児室にて団体内の方、または専門の業者等による保育を行う場合
- 営利目的及び特定の政党、宗教の勧誘・啓発・普及を目的とした利用はできませんのでご了承ください。

■利用者の区分

〈目的利用①〉

- 女性・家庭・家族、又は男女共同参画に関する研修、教育、学習、調査研究、情報収集及び交流等を主な目的とした利用を行う方
- 国の機関及び地方自治体の女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムによる利用を行う方

〈目的利用②〉

国立女性教育会館を利用する学習、研修の一部に女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムがある利用を行う方

目的利用の例：

女性団体・グループの総会、女性のキャリア形成についての学習会、男女共同参画に関するゼミ合宿、子育てに関する学習、女性教育情報センターにおける資料閲覧・収集等

〈一般利用〉

上記に該当する方以外は一般利用となります。

■申込受付期間

区 分		受付期間
目的利用	宿 泊	利用の12ヵ月前の月の1日から10日前まで
	日帰り	利用の10ヵ月前の月の1日から10日前まで
一般利用	宿 泊	利用の10ヵ月前の月の1日から10日前まで
	日帰り	

※テニスコートの日帰り利用は、利用の3ヵ月前の1日から受付を開始します。



お問い合わせ

国立女性教育会館 予約係
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
TEL/0493-62-6723(申込み専用)
FAX/0493-62-4399
E-mail/yoyaku@nwec.jp
ホームページ/http://www.nwec.jp/

利用申込書の提出

受 付

入 館

女性教育情報センター(p.6)は、予約なしでどなたでも利用いただけます。

国立女性教育会館ボランティア

■ ボランティアの受入れ

利用者及びボランティア自身の多様な生涯学習を促進するとともに、利用者への質の高いサービスの提供と他機関・団体等との連携協力のための活動として、ボランティアを受入れています。

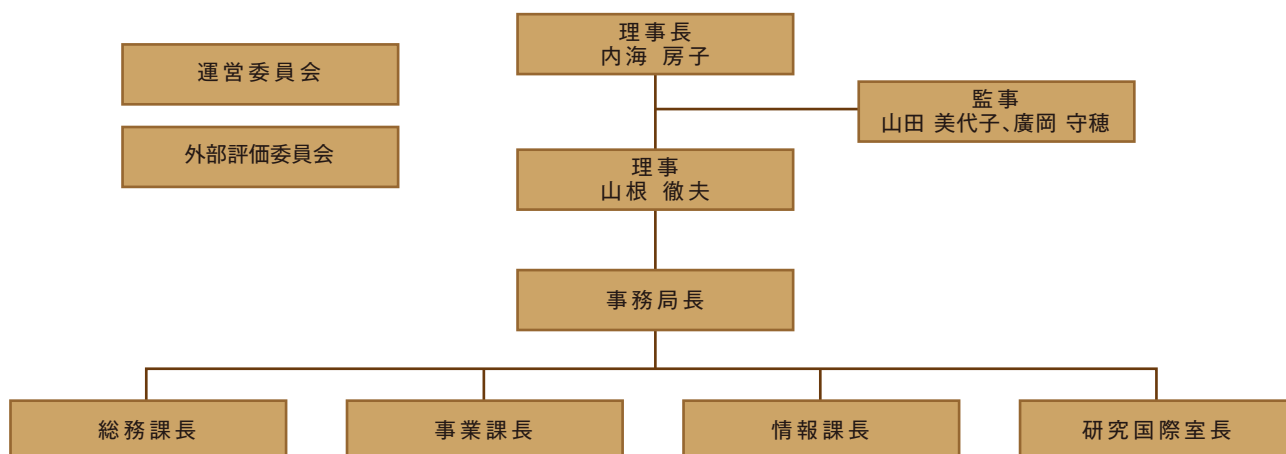


■ ボランティアと会館の連携

ボランティアを事業運営における大切なパートナーとして位置づけ、ボランティア活動の推進に向けさまざまな機会を提供しています。

- ① **情報提供及び交流**：連絡会議(年3回)を実施するとともに、会館内にボランティアルームを設置し、会館とボランティアまたボランティア相互の連絡・交流を図っています。
- ② **研 修 活 動**：ボランティアと会館が共に学ぶための研修事業として「ボランティア活動研究会」(年1回)を実施しています。
また、交流事業として全国から多数の参加者が集う「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」をボランティア活動に必要な基礎的な研修として位置づけています。
- ③ **自 主 活 動**：ボランティア相互の自主的なグループの活動・提案を受入れ、会館はそれをバックアップしています。

組織図



歴代館長・理事長

在任期間	職 名	氏 名
昭和52年7月1日 ～ 昭和57年7月9日	館 長	縫田 曄子
昭和57年7月10日 ～ 昭和62年3月31日	館 長	志熊 敦子
昭和62年4月1日 ～ 平成7年3月17日	館 長	前田 瑞枝
平成7年4月1日 ～ 平成13年3月31日	館 長	大野 曜
平成13年4月1日 ～ 平成16年3月31日	理事長	大野 曜
平成16年4月1日 ～ 平成23年6月30日	理事長	神田 道子
平成23年7月1日 ～ 現在	理事長	内海 房子

運営委員会委員

平成24年7月1日現在

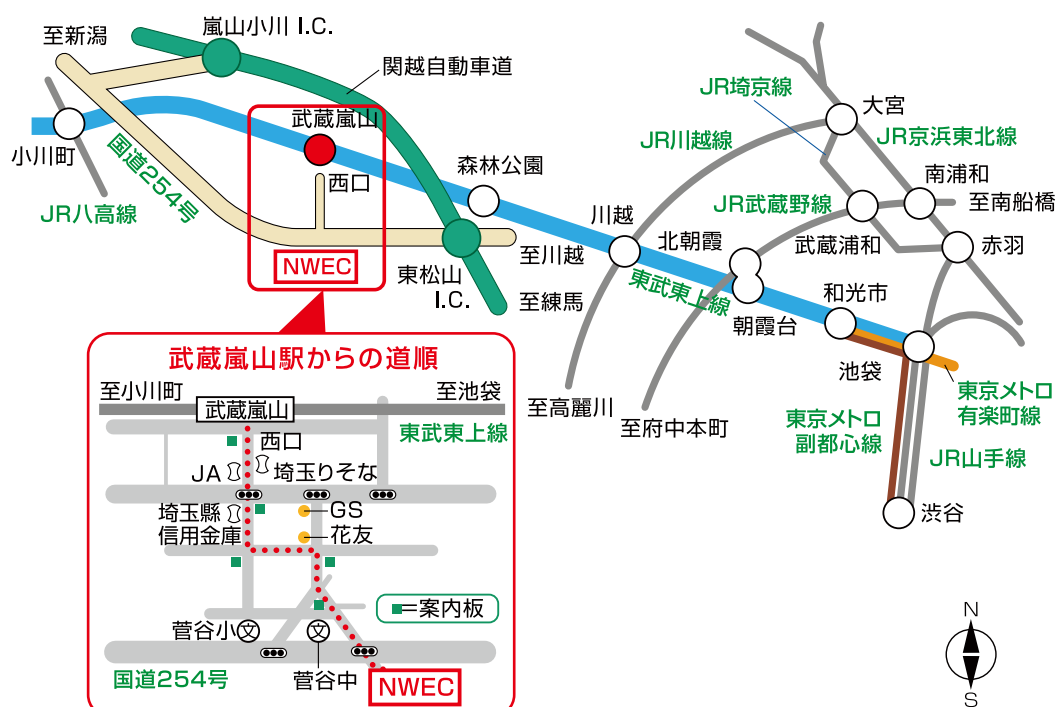
氏 名	現 職
蟻川 芳子	日本女子大学 学長・理事長
内田 洋子	埼玉県男女共同参画推進センター 所長
大川 須津子	特定非営利活動法人静岡県男女共同参画センター交流会議 代表理事
小山内 世喜子	アピオあおもり 青森県男女共同参画センター 副館長／ 特定非営利活動法人全国女性会館協議会 常任理事
小原 由美子	独立行政法人国立公文書館 公文書専門官
黒田 一雄	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 教授
佐藤 道明	日本労働組合総連合会埼玉県連合会 事務局長
白井 文	グンゼ株式会社 取締役， 前尼崎市長
竹信 三恵子	和光大学 現代人間学部現代社会学科 教授
田中 雅文	日本女子大学 人間社会学部教育学科 教授
田中 恭代	株式会社旭化成アビリティ 代表取締役社長
千塚 明	独立行政法人国民生活センター 研修部長
中畔 都舎子	全国地域婦人団体連絡協議会 顧問
中橋 恵美子	特定非営利活動法人わははネット 理事長
根岸 茂文	社団法人埼玉県経営者協会 専務理事・事務局長
羽入 佐和子	お茶の水女子大学 学長
前島 富雄	埼玉県教育委員会 教育長
矢澤 澄子	元 東京女子大学教授
山口 みつ子	国際婦人年連絡会 世話人
渡辺 三枝子	立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科 特任教授

外部評価委員会委員

平成24年10月1日現在

氏 名	現 職
天野 正子	東京家政学院大学 学長
犬塚 協太	静岡県立大学 国際関係学部 教授
菊川 律子	九州大学 理事
斎藤 悦子	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 准教授
笹井 宏益	国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部長
夏目 智子	全国地域婦人団体連絡協議会 事務局長

■ 交通案内 / Access



■ 交通のご案内

電車では

東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩で約12分。
武蔵嵐山駅へは池袋駅から東武東上線下りに乗り約60分。

■ タクシー利用

東武東上線武蔵嵐山駅から約5分。森林公園駅、小川町駅からは約15分。

自動車では

関越自動車道練馬I.C.からの場合、東松山I.C.（所要時間約35分）で降り、国道254号線を西に15分、新潟方面からは嵐山小川I.C.で降り、国道254号線を東に15分。

■ リムジンバス利用

成田空港及び羽田空港から、リムジンバスを利用して森林公園駅まで来る方法があります。熊谷地区へ向かうリムジンバスを使用ください。



独立行政法人 国立女性教育会館
National Women's Education Center

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
TEL 0493-62-6719(総務課)

総務課 FAX 0493-62-6722
事業課 FAX 0493-62-6720
情報課 FAX 0493-62-6721
研究国際室 FAX 0493-62-9034

ホームページ <http://www.nwec.jp/> E-mail webmaster@nwec.jp